

【総合計画資料】グループヒアリング

令和3年7月28日（水） 岩井図書館会議室

一般社団法人坂東青年会議所3名 （荒川理事長 後藤副理事長 石塚さん）

◆坂東市のいいところについてお伺いします。

- ・人とのつながりが強く、近所付き合い、コミュニティがしっかりしている。
- ・鉄道がないからこそできることがありそう。
- ・田舎ののんびりしたところ。
- ・里山。残していきたい。
- ・自然が豊か。
- ・治安がよい。子どもたちを地域みんなが見守っている。

◆坂東市の悪いところをお伺いします。

- ・よその地域から来た人（転入）が入りにくい。
- ・森林の伐採が多い。
- ・犬を散歩できる公園がない。
- ・子どもが遊んでいる姿を見ない。遊び場がない。
- ・東京からの交通の便が悪い。工業団地へ行く手段がない。
- ・街灯の設置がまだまだ少ない。暗い。

◆昔と比べて坂東市の変化を感じることはありますか。

- ・インフラは良くなってきた。ヨークタウンや秀緑もできた。住みやすくなってきた。
- ・農業が盛んなのはそのままでよい。
- ・道路が増えたのはいいが、森が減った。
- ・外国人が多い。いろんな文化が入ってきた。外国人とのコミュニケーションは楽しい。
- ・交通量（他県ナンバー）が増えた。
- ・子どもが減った。
- ・森林での開発が多い。

◆豊かなくらしとは？ 豊かに暮らすために何をしたらよいのか？

・心の豊かさが一番。子供がいて、心豊かに育って、一度坂東から出てもまた戻ってくる。

そして、市の魅力を伝えていける。そのために、青少年の健全な育成に力を入れたい。

- ・長須では年配の方が多いが、歳をとっても元気に働いている。働いていることに幸せを感じていて生き生きしている。高い買い物をするわけでもなく、遊んでいるわけでもない。仕事が生きてというのが幸せなのかな。

- ・子どもが少なくなつて地域で集まって遊ぶことができなくなっているが、家には広い庭があつて、そこで子供が安全に遊べる。広い家に庭があるのは理想的な暮らし。
-

◆JC として主に力を入れている活動を教えてください。

- ・全国の JC では、SDG s を一番推している団体を目指して活動している。SDG s をひも解いて活動していこうとしている。
- ・特に「青少年健全育成」と「自己研鑽」に力を入れていきたい。

＜活動の 3 本柱＞

- (1) 青少年健全育成 → わんぱく相撲 (中止)、ドリームパス
- (2) 自己研鑽 → ZOOM を利用して、オンライン授業を行っている。
- (3) まちづくり
- ・去年はドライブシアターを実施したり、コロナバスターズにも参加した。

◆コロナ過であるが、タイアップ事業等は実施できていますか？

- ・県内は、人数を制限して行っている。全国的には、オンライン (ZOOM) により開催している。

◆人口減少、まちの空洞化、空き家等の社会問題については、どのように考えているか？

- ・持続可能な坂東市を目指し、先ほどの 3 本柱に力を入れていきたい。
- ・こんなことやって面白いよね、と思われるような活動をしていきたい。(ドライブシアター等)

◆市とタイアップしてできることはありますか。

- ・ドリームパスについては、今後も実施する方向で考えている。
- ・市からも提案いただければ、協力してやっていきたい。

◆地域利便施設に設置を希望するものはありますか。

- ・道の駅のようなもの
- ・インスタ映えするもの
- ・スタバのようなカフェではなく、地元の特産品 (さしま茶等) を活用したカフェ
- ・地元の人も利用できるパン屋 (坂東市にはパン屋がない)
- ・Wi-Fi 環境が整ったフードコート。ビジネスマンも商談等に利用できるところ。

◆その他

- ・高校生の提案にあるように、市の情報発信にアプリを利用することを検討いただきたい。
- ・高校生には様々な経験をさせてあげたいと考えている。そのためにも、JC が間に入

って協力していきたい。

- ・スクールバスの広域運行により、市外の私立高校等に通う高校生が増えてきた。市内の高校を守っていくためにも、対策が必要ではないかと感じている。